

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【公表番号】特表2015-519395(P2015-519395A)

【公表日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2015-517245(P2015-517245)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

A 6 1 P 15/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/734 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/675

A 6 1 P 15/18

A 6 1 K 47/12

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/18

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 31/734

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

約 1 ～ 10 % のマトリックス形成化合物、約 1 ～ 10 % の生体付着性化合物および約 1 ～ 10 % L-乳酸を含む避妊殺菌剤組成物であって、該組成物は精液と接触していないときマトリックス状態ではなく、射精液と接触しているときマトリックス状態である、組成物。

【請求項 2】

前記組成物は、約 3 ～ 5 % のマトリックス形成化合物、約 2.5 ～ 6 % の生体付着性化合物、および約 1 ～ 7 % の L-乳酸を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記組成物は、約 3.5 ～ 4.5 % のマトリックス形成化合物、約 2.5 ～ 3.5 % の生体付着性化合物および約 1 ～ 4 % の L-乳酸を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記マトリックス形成化合物は、アルギン酸、キトサン、ジェランガム、およびポロキサマーからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記マトリックス形成化合物は、アルギン酸である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記生体付着性化合物は、キサンタンガム、アルギン酸、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシメチルセルロースナトリウム、キトサン、ポリカルボフィルおよびカルボボールからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記生体付着性化合物は、キサンタンガムである、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物は、水性の薬学的に許容可能な担体をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記組成物は、約 5 未満の pH を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記組成物は、約 3.5 ～ 約 4.5 の pH を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記組成物は、クエン酸、酒石酸カリウム、安息香酸、アルギン酸、ソルビン酸、フマル酸、アスコルビン酸、ステアリン酸、オレイン酸、酒石酸、エデト酸、エチレンジアミン四酢酸、酢酸、リンゴ酸およびその組み合わせからなる群から選択される緩衝剤をさらに含む、請求項 9 または 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

精子がマトリックス状態中の前記組成物によって捕捉および不活性化されることを特徴とする、避妊のために使用される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

性行為感染症を引き起こす微生物がマトリックス状態中の前記組成物によって捕捉および不活性化されることを特徴とする、性行為感染症の蔓延のリスクを低下させるために使用される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

精子および性行為感染症を引き起こす微生物がマトリックス状態中の前記組成物によって捕捉および不活性化されることを特徴とする、避妊および性行為感染症の蔓延のリスクを低下させるために使用される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記性行為感染症を引き起こす微生物は、クラミジア、淋病、トリコモナス症および細菌性膣症の少なくとも 1 つと関連している、請求項 13 または 14 に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0016

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0016】

本開示の他の局面が、明細書を通じて見出される。

本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目 1)

(a) (i) マトリックス形成化合物；

(ii) 該マトリックス形成化合物と同じであり得る、または異なり得る生体付着性化合物；および

(iii) 乳酸；

を含む避妊殺菌剤

(b) 1-(6-アミノプリン-9-イル)プロパン-2-イルオキシメチルホスホン酸またはその生理学的に機能的な誘導体；および

(c) 薬学的に許容可能な担体；
を含む避妊殺菌剤および抗ウイルス組成物であって、
該組成物は、4または4より低いpHを有し；
射精液と接触するとき、該組成物は、緩衝能力を有し、pHを中性より下に維持する、避
妊殺菌剤および抗ウイルス組成物。

(項目2)

前記組成物は、射精液と接触するまではマトリックス状態ではない、項目1に記載の組成
物。

(項目3)

前記組成物は、湿潤剤をさらに含む、項目1に記載の組成物。

(項目4)

前記組成物は、保存剤をさらに含む、項目1に記載の組成物。

(項目5)

前記乳酸は、L-乳酸である、項目1に記載の組成物。

(項目6)

(a) マトリックス形成化合物；

(b) 該マトリックス形成化合物と同じであり得る、または異なり得る生体付着性化合物
；

(c) 乳酸；

(d) 1-(6-アミノプリン-9-イル)プロパン-2-イルオキシメチルホスホン酸
またはその生理学的に機能的な誘導体；および

(c) 薬学的に許容可能な担体；

を含む組成物であって、

該組成物は、5.0または5.0より低いpHを有し

該組成物は、緩衝能力を有し、通常の量の射精液の存在下で、pHを5.0より下に維持
する、組成物。

(項目7)

項目1に記載の組成物の有効量を投与することを含む、性行為感染症の蔓延のリスクを低
下させ、避妊を予防する方法。